平成 26 年 3 月 27 日
一般社団法人グリーンファイナンス推進機構

富山小水力発電プロジェクト事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、建設コンサルタントである株式会社新日本コンサルタント（所在地：富山県富山市　代表取締役：市森友明）の計画する小水力発電プロジェクトに１億円の出資を決定致しましたのでお知らせします。

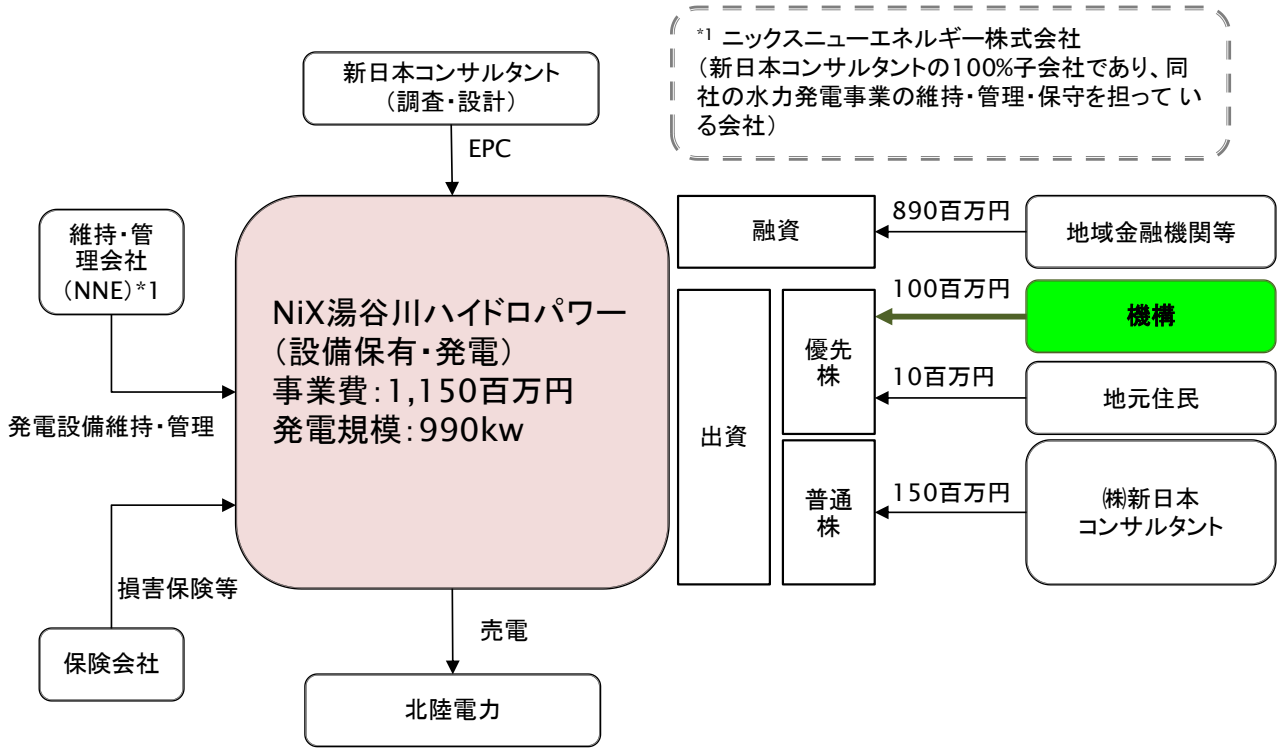
本事業は、富山県南砺市を流れる湯谷川流域において、河川を利用した流れ込み式の小水力発電事業です。

水力発電事業は、従来からの確立された技術で実行可能であり、日本ではこれまでに電力会社を中心に大型ダムを利用した大水力発電等を行ってきているものの、地域の河川等を使った中小水力発電は、水利権の確保・採算性の観点から普及が進んできませんでした。また、同分野において、民間主導の発電計画は非常に少ない状況です。

一方、日本における中小水力発電を行うことができる地点は多く、これらを普及させるには、民間の関与が大きな手助けとなります。

機構は本事業が、流量及び落差を十分に確保できる水力発電に適した場所であること、生態系を含めた環境保護を十分に検討された計画であることに加え、機構の出資が民間主導の中小水力発電事業への後押しとなり、中小水力発電の促進に貢献できることに鑑み、出資決定致しました。

１．スキーム概要



（説明）

① 本プロジェクトの SPC である NiX 湯谷川ハイドロパワー㈱に、メインスポンサーである㈱新日本コンサルタントが 150 百万円、機構が 100 百万円、地元住民から 10 百万円、を出資します（融資は地元金融機関で 890 百万円を予定）。

② SPC は上記資金を利用し、㈱新日本コンサルタントを EPC として、設計・建設を委託し、㈱新日本コンサルタントは地元建設会社の協力のもと水力発電所を建設します。

③ 稼働後は、NNE（ニックスニューエネルギー株式会社：㈱新日本コンサルタントの 100%子会社）が発電設備の維持・管理・保守を担い、発電電力は、北陸電力へ売電します。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

① 2012 年 7 月の固定価格買取制度導入後も案件開発の難しさ等から普及が進んでいない中小水力発電事業に機構が出資することで、中小水力発電事業の普及の後押しとなること。

② 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 2,862t-CO2/年を想定しています）。

③ 本プロジェクトが実行されることで、ⅰ開発と環境保護の両立を目指し環境モニタリング等を継続することにより、河川環境の維持が期待できること、ⅱ従来から使用している農業用水の排水管理（取水口におけるゴミ収集等）ができること、ⅲ出資者に地域住民を募ることで配当として収益還元できること、により地域活性化に資すること。

お問い合わせ先
一般社団法人グリーンファイナンス推進機構　事業部
電話：03-6257-3863（事業部）ホームページ：http://greenfinance.jp/index.html